

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 2019年8月13日

【四半期会計期間】 第55期第2四半期(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

【会社名】 高橋カーテンウォール工業株式会社

【英訳名】 TAKAHASHI CURTAIN WALL CORPORATION

【代表者の役職氏名】 取締役社長 高橋 武治

【本店の所在の場所】 東京都中央区日本橋本町1丁目5番4号

【電話番号】 (03)3271 1711(代表)

【事務連絡者氏名】 執行役員管理部長 市川 尚

【最寄りの連絡場所】 東京都中央区日本橋本町1丁目5番4号

【電話番号】 (03)3271 1711(代表)

【事務連絡者氏名】 執行役員管理部長 市川 尚

【縦覧に供する場所】 高橋カーテンウォール工業株式会社大阪支店

(大阪府大阪市北区中之島3丁目2番18号)

株式会社東京証券取引所

(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

回次		第54期 第2四半期 連結累計期間	第55期 第2四半期 連結累計期間	第54期
会計期間		自 2018年1月1日 至 2018年6月30日	自 2019年1月1日 至 2019年6月30日	自 2018年1月1日 至 2018年12月31日
売上高	(千円)	3,896,031	8,822,328	6,568,403
経常利益	(千円)	665,107	1,353,344	900,444
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益	(千円)	422,776	879,045	715,187
四半期包括利益又は包括利益	(千円)	422,443	882,089	708,587
純資産額	(千円)	7,768,698	8,762,228	7,967,490
総資産額	(千円)	12,201,000	16,126,617	14,505,112
1株当たり四半期 (当期)純利益金額	(円)	48.40	100.63	81.87
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額	(円)			
自己資本比率	(%)	63.7	54.3	54.9
営業活動による キャッシュ・フロー	(千円)	371,083	382,527	105,412
投資活動による キャッシュ・フロー	(千円)	213,454	206,260	455,114
財務活動による キャッシュ・フロー	(千円)	361,106	334,617	183,876
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高	(千円)	995,382	506,930	665,280

回次		第54期 第2四半期 連結会計期間	第55期 第2四半期 連結会計期間
会計期間		自 2018年4月1日 至 2018年6月30日	自 2019年4月1日 至 2019年6月30日
1株当たり四半期純利益金額	(円)	40.47	86.44

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
3. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
4. 「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度に係る主要な経営指標等については、当該会計基準等を遡って適用した後の指標等となっております。

2 【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)において営まれている事業の内容に重要な変更はありません。

また、主要な関係会社における異動もありません

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間における、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

2 【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第28号 平成30年2月16日）等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、財政状態の状況については、当該会計基準等を遡って適用した後の数値で前連結会計年度との比較・分析を行っております。

(1) 経営成績の状況

当第2四半期連結累計期間における日本の経済は、個人消費の持ち直しや企業収益や雇用・所得環境が底堅く推移するなど緩やかな景気の回復基調で推移いたしました。一方海外においては、米中を中心とした通商問題、中国経済の減速、英国EU離脱問題等、今後我が国経済に悪影響を及ぼしかねない要因も多く、先行き不透明な状況が続いております。

このような状況の下、当建設業界におきましては、2020年のオリンピックが近づくにつれ、大型建設プロジェクトが次々と佳境に入り、労務費、資材費の上昇が起こっています。とくに建設技能労働者の人手不足が深刻化しており、各社、入職者確保に懸命な努力を続けています。

PCカーテンウォール業界及び当社では、現在、外壁の取付作業量がピークに来ており、高負荷の中、安全に出荷・取付してゆくことが課題です。

プールを手掛けるアクア事業では、主力である学校やスポーツクラブのプール以外のリニューアル工事業の拡大を図っております。

当第2四半期連結累計期間の、当社企業グループの業績は売上高は88億22百万円（前年同四半期比126.4%増）、営業利益13億2百万円（前年同四半期比112.8%増）、経常利益13億53百万円（前年同四半期比103.5%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益8億79百万円（前年同四半期比107.9%増）となりました。

なお、受注高は39億95百万円（前年同四半期比27.2%減）、受注残高は141億74百万円（前連結会計年度末比25.4%減）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

PCカーテンウォール事業

現在、資材の供給遅れにより、建設現場の進捗が遅れる傾向にあります。PCの取付も連動して遅れるため、当社の売上が第3四半期以降に伸びた物件が複数あります。

しかしながら、当第2四半期連結累計期間においては、建設現場の遅れにより前期から繰り越してきている物件が完成したこと等により、当セグメントの売上高は86億8百万円（前年同四半期比125.9%増）、セグメント利益は13億8百万円（前年同四半期比103.3%増）となりました。なお、売上のトレンドに季節性はございません。

アクア事業

当第2四半期連結累計期間においては、学校関連及びフィットネスクラブのプールの新設・改修が順調に進んだため、当セグメントの売上高は1億87百万円（前年同四半期比200.8%増）、セグメント利益は1百万円（前年同四半期は20百万円のセグメント損失）となりました。

その他

その他は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、システム収納家具事業と建設事業（不動産賃貸事業を含む）であります。

当セグメントの売上高は26百万円（前年同四半期比14.0%増）、セグメント損失は8百万円（前年同四半期は15百万円のセグメント損失）となりました。

(2) 財政状態の状況

資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は161億26百万円と前連結会計年度末と比較して16億21百万円の増加となりました。これは主に、電子記録債権が22億14百万円及び受取手形・完成工事未収入金等が10億28百万円増加したことと、未成工事支出金が12億11百万円減少したことによるものであります。

負債の状況

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は73億64百万円と前連結会計年度末と比較して8億26百万円の増加となりました。これは主に、電子記録債務が8億4百万円及び未払法人税等が2億84百万円、未成工事受入金が2億51百万円増加したことと、支払手形・工事未払金等が4億59百万円減少したことによるものであります。

純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は87億62百万円と前連結会計年度末と比較して7億94百万円の増加となりました。これは主に、利益剰余金が親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により8億79百万円増加したことと、配当金の支払いにより87百万円減少したことにより7億91百万円増加したことによるものであります。

(3) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物は、前年同四半期と比較して4億88百万円減少して5億6百万円(前年同四半期比49.1%減)となりました。

営業活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローの状況につきましては、主に税金等調整前四半期純利益の計上13億52百万円、未成工事支出金の減少額12億11百万円、仕入債務の増加額3億45百万円、その他の資産の減少額2億84百万円、その他の負債の増加額2億82百万円及び売上債権の増加額32億43百万円により3億82百万円の資金増加(前年同四半期比3.1%増)となりました。

投資活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローの状況につきましては、主に有形固定資産の取得による支出2億6百万円、投資有価証券の取得による支出83百万円及び投資有価証券の売却による収入82百万円により2億6百万円の資金減少(前年同四半期は2億13百万円の資金減少)となりました。

財務活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローの状況につきましては、主に長期借入金の返済による支出1億96百万円、社債の償還による支出50百万円、配当金の支払額87百万円により3億34百万円の資金減少(前年同四半期は3億61百万円の資金減少)となりました。

(4) 事業上および財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社企業グループの事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更および新たに生じた課題はありません。

(5) 研究開発活動

特記事項はありません。

3 【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	36,500,000
計	36,500,000

【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末 現在発行数(株) (2019年6月30日)	提出日現在発行数(株) (2019年8月13日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	9,553,011	9,553,011	東京証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	単元株式数 100株
計	9,553,011	9,553,011		

(2) 【新株予約権等の状況】

【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
2019年6月30日		9,553,011		100,000		

(5) 【大株主の状況】

2019年6月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式 (自己株式を除く。)の総数に対 する所有株式数 の割合(%)
高橋 武 治	東京都品川区	1,555	17.80
高橋 敏 男	東京都港区	1,034	11.84
日本トラスティ・サービス信託 銀行株式会社(信託口)	東京都中央区晴海1丁目8-11	536	6.13
岩崎 陽 子	東京都世田谷区	473	5.41
高橋 宗 敏	東京都港区	421	4.82
高橋 亜 紀 子	東京都港区	410	4.70
KBL EPB S.A.10 7704 (常任代理人 株式会社みずほ 銀行決済営業部)	43 BOULEVARD ROYAL L - 2955 LUXEMBOURG (東京都港区港南2丁目15-1)	259	2.97
高橋 雅 代	東京都世田谷区	235	2.69
高橋 幸 子	東京都港区	138	1.57
MSIP CLIENT SEC URITIES (常任代理人 モルガン・スタ ンレーMUF G証券株式会社)	25 CABOT SQUARE, CANA RY WHARF, LONDON E14 4QA, U.K. (東京都千代田区大手町1丁目9-7)	136	1.56
計		5,201	59.54

(注) 上記のほか当社所有の自己株式817千株があります。

(6) 【議決権の状況】

【発行済株式】

2019年6月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 817,800		
完全議決権株式(その他)	普通株式 8,731,300	87,313	
単元未満株式	普通株式 3,911		
発行済株式総数	9,553,011		
総株主の議決権		87,313	

(注) 「単元未満株式」欄の普通株式には、当社所有の自己株式14株が含まれております。

【自己株式等】

2019年6月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) 高橋カーテンウォール 工業株式会社	東京都中央区日本橋 本町1丁目5番4号	817,800		817,800	8.56
計		817,800		817,800	8.56

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4 【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に準拠して作成し、「建設業法施行規則」(昭和24年建設省令第14号)に準じて記載しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間(2019年4月1日から2019年6月30日まで)及び第2四半期連結累計期間(2019年1月1日から2019年6月30日まで)に係る四半期連結財務諸表について、八重洲監査法人により四半期レビューを受けております。

1 【四半期連結財務諸表】

(1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金預金	665,280	506,930
受取手形・完成工事未収入金等	869,327	1,898,010
電子記録債権	790,121	3,005,034
未成工事支出金	6,623,646	5,412,290
その他のたな卸資産	1 93,302	1 77,625
その他	348,124	63,394
流動資産合計	9,389,804	10,963,285
固定資産		
有形固定資産		
建物・構築物(純額)	636,679	625,439
土地	1,783,101	1,783,101
その他(純額)	614,068	618,742
有形固定資産合計	3,033,849	3,027,283
無形固定資産	38,784	39,586
投資その他の資産		
投資有価証券	214,411	226,056
保険積立金	910,726	926,251
投資不動産(純額)	119,194	118,909
退職給付に係る資産	100,984	106,166
その他	713,923	735,644
貸倒引当金	16,567	16,567
投資その他の資産合計	2,042,674	2,096,461
固定資産合計	5,115,308	5,163,331
資産合計	14,505,112	16,126,617
負債の部		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	1,294,354	834,841
電子記録債務	-	804,905
短期借入金	637,000	625,000
1年内償還予定の社債	100,000	80,000
未払法人税等	219,779	504,747
未成工事受入金	2,781,160	3,032,312
引当金	63,398	56,510
その他	289,775	475,550
流動負債合計	5,385,468	6,413,867
固定負債		
社債	60,000	30,000
長期借入金	552,000	368,000
役員退職慰労引当金	460,012	468,041
その他	80,141	84,479
固定負債合計	1,152,153	950,520
負債合計	6,537,621	7,364,388

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	3,283,363	3,283,363
利益剰余金	4,779,463	5,571,156
自己株式	238,430	238,430
株主資本合計	7,924,396	8,716,089
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	43,094	46,139
その他の包括利益累計額合計	43,094	46,139
純資産合計	7,967,490	8,762,228
負債純資産合計	14,505,112	16,126,617

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年1月1日 至2018年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年1月1日 至2019年6月30日)
売上高		
完成工事高	3,896,031	8,822,328
売上原価		
完成工事原価	2,927,232	7,133,777
売上総利益		
完成工事総利益	968,799	1,688,550
販売費及び一般管理費	1 356,677	1 385,661
営業利益	612,122	1,302,889
営業外収益		
受取利息	218	231
受取配当金	1,704	1,948
投資有価証券売却益	-	6,644
投資不動産賃貸料	3,835	2,801
受取家賃	6,637	6,999
鉄屑売却収入	18,277	27,444
テナント退店違約金受入益	19,576	-
その他	11,419	12,861
営業外収益合計	61,669	58,931
営業外費用		
支払利息	5,867	4,668
不動産賃貸費用	1,610	1,428
その他	1,205	2,379
営業外費用合計	8,683	8,476
経常利益	665,107	1,353,344
特別利益		
固定資産売却益	1,149	-
特別利益合計	1,149	-
特別損失		
固定資産除却損	2,102	1,241
特別損失合計	2,102	1,241
税金等調整前四半期純利益	664,155	1,352,102
法人税、住民税及び事業税	262,746	499,931
法人税等調整額	21,368	26,873
法人税等合計	241,378	473,057
四半期純利益	422,776	879,045
親会社株主に帰属する四半期純利益	422,776	879,045

【四半期連結包括利益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年1月1日 至2018年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年1月1日 至2019年6月30日)
四半期純利益	422,776	879,045
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	333	3,044
その他の包括利益合計	333	3,044
四半期包括利益	422,443	882,089
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	422,443	882,089

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年1月1日 至2018年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年1月1日 至2019年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	664,155	1,352,102
減価償却費	92,354	124,469
固定資産売却損益(は益)	1,149	-
固定資産除却損	0	159
役員退職慰労引当金の増減額(は減少)	11,030	8,029
引当金の増減額(は減少)	4,476	6,888
退職給付に係る資産の増減額(は増加)	4,322	5,181
受取利息及び受取配当金	1,922	2,180
投資有価証券売却損益(は益)	-	6,644
テナント退店違約金受入益	19,576	-
支払利息	5,867	4,668
売上債権の増減額(は増加)	457,481	3,243,594
未成工事支出金の増減額(は増加)	856,210	1,211,355
その他のたな卸資産の増減額(は増加)	10,114	15,677
保険積立金の増減額(は増加)	19,284	15,524
その他の資産の増減額(は増加)	43,506	284,426
仕入債務の増減額(は減少)	405,473	345,392
未成工事受入金の増減額(は減少)	226,852	251,151
その他の負債の増減額(は減少)	24,613	282,684
小計	432,979	600,104
利息及び配当金の受取額	2,112	2,367
利息の支払額	6,059	4,981
法人税等の支払額	57,947	214,962
営業活動によるキャッシュ・フロー	371,083	382,527
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	215,253	206,175
有形固定資産の売却による収入	1,150	0
投資有価証券の取得による支出	-	83,269
投資有価証券の売却による収入	-	82,967
貸付けによる支出	2,100	1,000
貸付金の回収による収入	2,148	4,598
その他	600	3,382
投資活動によるキャッシュ・フロー	213,454	206,260

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年1月1日 至 2018年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(は減少)	50,000	-
長期借入金の返済による支出	172,000	196,000
社債の償還による支出	50,000	50,000
建設協力金の返済による支出	1,428	1,260
配当金の支払額	87,637	87,357
その他	40	-
財務活動によるキャッシュ・フロー	361,106	334,617
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	203,476	158,350
現金及び現金同等物の期首残高	1,198,859	665,280
現金及び現金同等物の四半期末残高	1 995,382	1 506,930

【注記事項】

(追加情報)

当第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)	
「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。	

(四半期連結貸借対照表関係)

1. その他のたな卸資産の内訳は次のとおりであります。

	前連結会計年度 (2018年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
材料貯蔵品	93,302千円	77,625千円

(四半期連結損益計算書関係)

1. 販売費及び一般管理費の主要な費目及び金額は次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年1月1日 至 2018年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)
従業員給料手当	128,168千円	129,106千円
賞与引当金繰入額	14,404	14,255
退職給付費用	4,070	893
役員退職慰労引当金繰入額	11,030	11,030

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

1. 現金及び現金同等物の四半期期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年1月1日 至 2018年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)
現金預金	995,382千円	506,930千円
預入期間が3か月超の定期預金		
現金及び現金同等物	995,382千円	506,930千円

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自 2018年1月1日 至 2018年6月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2018年3月29日 定時株主総会	普通株式	87,352	10.00	2017年12月31日	2018年3月30日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日
後となるもの

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2018年7月27日 取締役会	普通株式	87,351	10.00	2018年6月30日	2018年9月10日	利益剰余金

当第2四半期連結累計期間(自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2019年3月28日 定時株主総会	普通株式	87,351	10.00	2018年12月31日	2019年3月29日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日
後となるもの

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2019年7月25日 取締役会	普通株式	131,027	15.00	2019年6月30日	2019年9月9日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 2018年1月1日 至 2018年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	PCカーテン ウォール事業	アクア事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	3,810,253	62,186	3,872,440	23,591	3,896,031		3,896,031
セグメント間の内部売上高 又は振替高							
計	3,810,253	62,186	3,872,440	23,591	3,896,031		3,896,031
セグメント利益又はセグメント損失()	643,883	20,023	623,860	15,637	608,222	3,900	612,122

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、システム収納家具事業と建設事業(不動産賃貸事業を含む)であります。

2 セグメント利益又はセグメント損失()の調整額3,900千円は、セグメント間取引消去であります。

3 セグメント利益又はセグメント損失()は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間(自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	PCカーテン ウォール事業	アクア事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	8,608,400	187,041	8,795,441	26,887	8,822,328		8,822,328
セグメント間の内部売上高 又は振替高							
計	8,608,400	187,041	8,795,441	26,887	8,822,328		8,822,328
セグメント利益又はセグメント損失()	1,308,960	1,989	1,310,950	8,061	1,302,889		1,302,889

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、システム収納家具事業と建設事業(不動産賃貸事業を含む)であります。

2 セグメント利益又はセグメント損失()は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年1月1日 至 2018年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)
1株当たり四半期純利益金額	48円40銭	100円63銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益金額(千円)	422,776	879,045
普通株主に帰属しない金額(千円)		
普通株式に係る親会社株主に帰属する 四半期純利益金額(千円)	422,776	879,045
普通株式の期中平均株式数(株)	8,735,208	8,735,197

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2 【その他】

第55期(2019年1月1日から2019年12月31日まで)中間配当について、2019年7月25日開催の取締役会において、2019年6月30日の株主名簿に記録された株主に対し、次のとおり中間配当を行うことを決議いたしました。

配当金の総額	131,027千円
1株当たりの金額	15円00銭
支払請求権の効力発生日及び支払開始日	2019年9月9日

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

2019年 8月 9日

高橋カーテンウォール工業株式会社

取締役会 御中

八重洲監査法人

代表社員
業務執行社員 公認会計士 齋 藤 勉 印

業務執行社員 公認会計士 山 田 英 二 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている高橋カーテンウォール工業株式会社の2019年1月1日から2019年12月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間(2019年4月1日から2019年6月30日まで)及び第2四半期連結累計期間(2019年1月1日から2019年6月30日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、高橋カーテンウォール工業株式会社及び連結子会社の2019年6月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2. XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれていません。